

OKINAWA GENERAL CONSTRUCTORS ASSOCIATION

沖建協会報



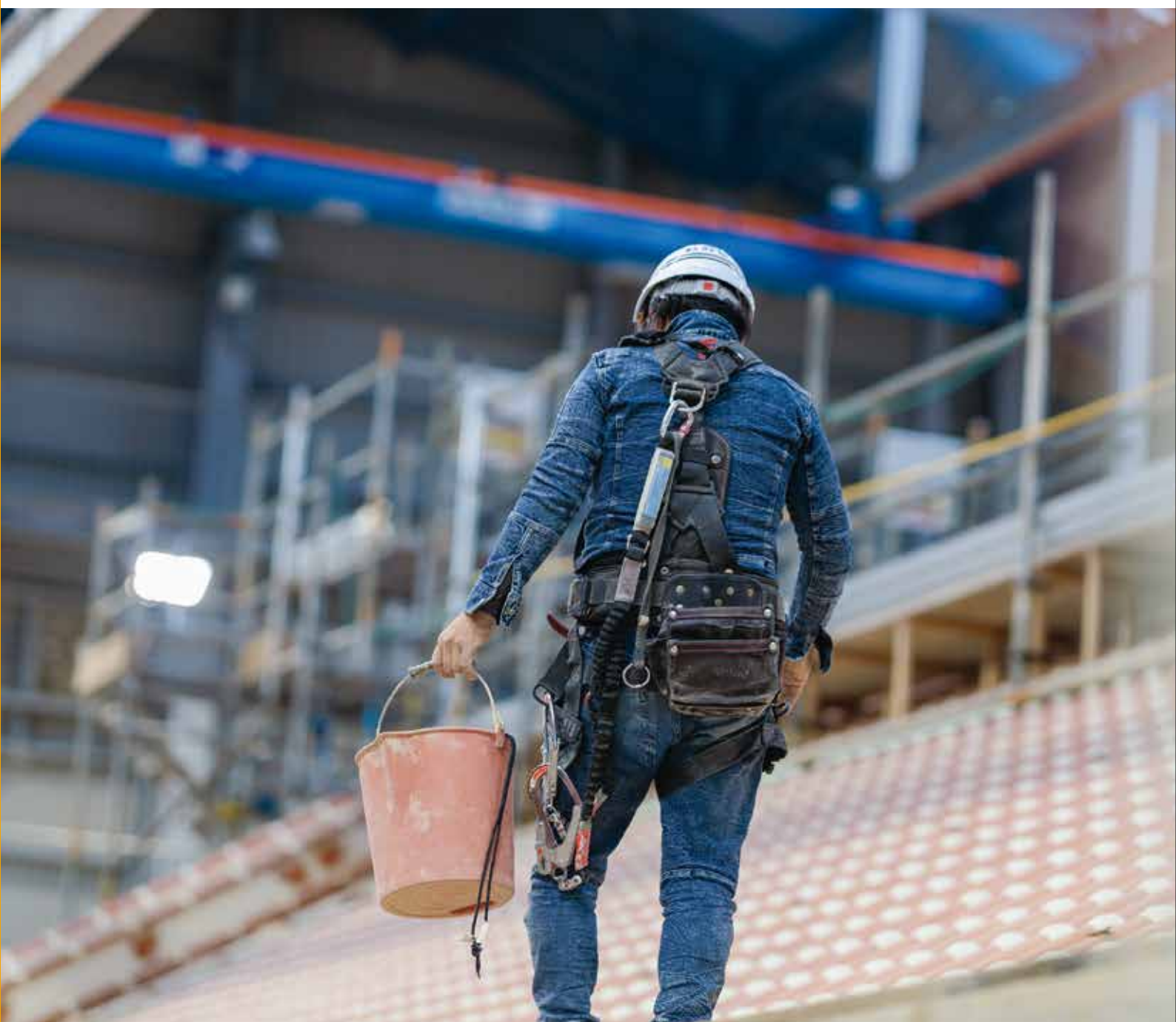
令和8年

No.674

7
月号

今月号の主な内容

- ◆ 第2回役員会
- ◆ 建設産業合同企業説明会
- ◆ 実践型人材育成訓練修了



目 次

<NEWS>

第2回役員会	1
新旧役員懇親会で結束深まる	2
建設産業合同企業説明会に1000人参加	3
若手技術者が実践型人材育成訓練を修了	5
琉大講義で建設業の仕事と魅力紹介	5
南部・北部国道事務所の発注工事説明会開催	6
おきなわ建設フェスタ実行委員長に仲本会長を選任	6
1級土木施工管理(一次)試験対策で講習会開催	7
土木・建築1級施工管理試験に向けて確認テスト	7
美来工科高校デュアルシステム	8
女性部会が県母子連・那覇市母子会と意見交換	8
建災防沖縄県支部が通常総会・労働災害防止大会	9
県内5地区で安全管理推進大会開催	10
支部活動報告	11
那覇、南部、八重山支部 沖縄防衛局説明会に参加	
那覇支部 社会貢献活動で国場川沿いを清掃	
那覇、南部、浦添・西原支部 CPDSセミナー開催	
南部支部 今年度1回目の防犯パトロール	
中部、北部支部 不法投棄防止パトロールに参加	
北部支部 名護労基署と合同現場パトロール	
宮古支部 広域公園の早期整備など4項目を要望	
八重山支部 八重山圏域のインフラ整備と建設業振興を要望	

<建設雇用改善推進コーナー>

Message～後輩たちへ	15
---------------	----

<事務局から>

協会の動き	16
今後の日程	16

<会員の異動>

	17
--	----

<お知らせ>

西日本建設業保証からお知らせ	18
----------------	----

〈表紙写真〉

【青年部会第17回フォトコンテスト ～島の魅力～優秀作品より】

〔人の部 学生賞〕

題 名：屋根の上の使命
撮 影 者：富原 涼
撮影場所：首里城(那覇市)

経済的困窮世帯への支援金について協力を求めた

第2回役員会 各委員会構成決まる



支援金協力などの議事を審議した

令和8年度第2回役員会を6月17日、那覇市の沖縄ハーバービューホテルで開き、会員資格の承継(3件)のほか、経済的困窮世帯への支援金協力、委員会構成案を審議し、すべて承認された。仲本豊会長は「5月15日に津波達也前会長からバトンを受けました。微力ではありますが、皆様のお力添えもいただいて全力で職務を全うしていきたい。ご協力をお願いします」と述べた。

審議では、経済的困窮世帯への支援金協力について、女性部会の糸数幸恵部会長が県内のひとり親世帯の割合や子ども貧困率が全国平均より高く、厳しい生活を強いられていると説明。支援金は一口5千円から何口でも可能として、支援を呼び掛けた。委員会構成案は拍手で承認され、各委員長に仲本会長から委嘱状が交付された。

開会のあいさつで、名嘉太助副会長は「仲本新体制による最初の役員会。各委員会の委員長や副委員長、委員も決まりました。協会のさらなる発展のために皆様のご尽力とご協力をお願いします」と述べ、役員会を閉じた。

○議事

1. 会員資格承継



挨拶する仲本会長

【那覇支部】極東建設(株)(代表取締役・柳森豊)

【南部支部】(株)枝建(代表取締役・津波古健二)

【北部支部】(有)良三組(代表取締役・満名務)

2. 経済的困窮世帯への支援金協力について

3. 委員会構成(案)について

各委員構成は次の通り(敬称略)

▽総務委員会＝津波克守(委員長)、下地辰倫(副委員長)、喜名景秀、新里勝則、手登根明、照屋博章、石川裕憲、内間司、黒島一洋、徳元猛、友利勝人、平良聡、大城壮司、我喜屋良成

▽総合企画委員会＝喜名景秀(委員長)、長山宏

(副委員長)、仲泊栄次、玉城進一、福地一仁、伊志嶺匡、糸数幸恵、照屋正人、川満明、玉吉秀庸、大城壮司、我喜屋良成

▽建設委員会＝新里勝則(委員長)、下地和彦(副委員長)、伊波一人、太田秀吉、大嶺健一郎、大村光昭、平良修一、赤嶺武信、川平勲、照屋晃、仲本瑛、我喜屋良成

▽労務対策委員会＝手登根明(委員長)、大石根史(副委員長)、小那覇邦郎、與那嶺泰輔、本部憲治、瀬底元、照屋博章、石川裕憲、内間司、黒島一洋、徳元猛、友利勝人、平良聡、我喜屋良成

▽支部長会＝黒島一洋(委員長)、石川裕憲(副委員長)、照屋博章、内間司、徳元猛、友利勝人、平良聡、我喜屋良成

○その他事項

1. 国会議員との意見交換に向けた要望事項
2. 入札・契約制度及び現場における問題点等の意見募集



委嘱状を受ける黒島支部長

3. 現場(竣工・稼働中)で発生した問題点等のアンケート調査
4. 全建「労働環境の整備に関するアンケート」
5. 学卒求人の確保に係る要請(報告)
6. 建設産業合同企業説明会2026の報告
7. 経営層向けAI活用セミナーの開催
8. 第18回フォトコンテスト「島の魅力」作品募集
9. 黄綬褒章受章祝賀会の開催

新旧役員懇親会で結束深まる

6月17日の第2回役員会後、新旧役員懇親会が引き続き開かれ、仲本豊会長と津波達也前会長をはじめ、多くの関係者が詰めかけた。

仲本新会長は「津波前会長からバトンを受け取りましたが、これからも顧問としていろいろアドバイスもいただきたいと思います。また皆様方のご協力、お支えをいただきまして微力ではありますが、頑張っまいます」とあいさつした。

津波前会長は「私が就任したのはコロナのパンデミックの頃で、就任は書面形式、会議もウェブだった。これは歴代会長で初めてのこと。2年後にコロナが収束してようやく顔を見合わせる事ができた」と振り返った。また「仲本会長を中心にチームワークを発揮して、若い人も巻き込んで沖縄の建設業界をもっと良くしていただくようお願いします」と激励した。

新旧会長の激励を受け、会場では祝福とねぎらいの言葉が行き交い、結束が一段と深まった。



仲本会長を囲んで乾杯



退任理事を代表して津波前会長が挨拶した

県内各地から1000人参加 97社出展

建設産業合同企業説明会2026



会場は終始にぎわいを見せた

6月5日、(一社)沖縄県建設業協会と(一社)沖縄県建設産業団体連合会主催による「建設産業合同企業説明会2026」を宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開催した。企業97社と専門学校2校が出展し、離島を含め県内各地から高校生や大学生、専門学校生ら約1000人が訪れた。開会式の主催者あいさつでは、仲本豊沖建協会長が、「会場には私たちの暮らしの基盤を支え、地域の未来をつくる素晴らしい企業が一堂に会している。宝探しをするような気持ちでいろいろな企業を巡ってください。学生の皆さんと参加企業にとって素晴らしい出会いになることを期待しています」と述べた。

来賓あいさつでは、沖縄労働局の宮本淳子局長が「会社の担当者から直接説明を受けることのできる貴重な機会。その会社の雰囲気を感じてやりたい仕事、気に入った会社を見つけてください」と激励した。式典の最後には、仲本会長と宮本局長、県関係者によるテープカットが行われ、説明会が開幕。県内の高校からは、工業高校を中心に15校・約800人の生徒が次々と訪れた。昨年から参加している宮古・八重山の高校生も今年は3校から6人が参加。学生らは興味のある企業に次々と足を運び、



仲本会長らがテープカット



開場を待つ生徒ら

会場は終始にぎわいを見せた。

各ブースを熱心に回っていた美里工業3年の生徒は「将来は施工管理の仕事がしたい。進学して県内で就職したい」と話した。また、将来は設計の仕事に就きたいという同校2年生は「卒業後は大学に進学する予定だが、今のうちから企業を知っておきたい」と語り、設計や建築関係を中心に回ってい

た。このほか、木造建築の仕事に携わりたいという沖縄工業2年生は「会社のことをわかりやすく詳しく説明してくれた。型枠なども面白そうだなと、いろいろ興味がわいてきた」と刺激を受けた様子だった。宮古高校3年生の生徒は、「大学進学を考えていたが、働きながら専門学校で勉強する方法もあることが分かった。どうするか迷う」と話していた。パシフィックテクノカレッジ2年の学生は「将来は現場監督になりたい。現場の雰囲気や新技術について話を聞くことができてよかった。給与面も気になる」と話していた。

会場は展示棟と会議棟の2つに分かれ、土木・建築、電気、管、電気通信、造園、施工・管理、建設コンサルタント、セメント販売、生コンクリート製造など多くの業種が出展した。学生らにとって、業界理解を深める貴重な場となった。

建設産業合同企業説明会2026 出展企業・学校一覧

【建設産業】

座波建設(株)、(株)太名嘉組、(株)ホカマ、金秀建設(株)、(株)仲本工業、(株)大興建設、(株)南成建設、(株)呉屋組、(株)新洋、(株)照屋土建、(株)國幸興稜(株)、(株)丸政工務店、(株)第一三興建設、(株)大米建設、(株)仲本建設(株)、(株)國場組、(株)鏡正組、(株)沖永開発、(株)南洋土建(株)、(株)金秀鉄工(株)、(株)鏡原組、(株)光建設(株)、(有)くくる、(株)福山建設(株)、(株)オパス(株)、(株)沖繩ピーシー(株)、(株)屋部土建、(株)共和産業(株)、(有)大協建設、(株)大鏡建設(株)、(株)七和、(株)りゅうせき建設、(株)沖繩工設、(株)上門工業(株)、(株)米元建設工業(株)、(株)福地組、(株)琉球開発(株)、(株)大寛組、(株)金城キク建設、(株)街クリーン建設(株)、(株)東恩納組、(株)大晋建設(株)、(株)大城組、(有)有志建設、(株)丸尾建設(株)、(株)豊神建設、(株)沖電工、(株)平安座総合開発(株)、(株)おきさん、(株)國和設備工業(株)、(株)金城電気工事(株)、(株)南西電設(株)、(株)マエダ電気工事(株)、(株)第一工業(株)、(株)ヤシマ工業(株)、(株)沖繩特電、(株)オカノ、(株)東洋設備、(株)三建設備(株)、(株)西原環境おきなわ、(株)紫電舎、(株)デルタ電気工業(株)、(株)比嘉工業(株)、(株)光通信工業(株)、(株)琉球通信工事(株)、(株)大成設備工業(株)、(株)沖創工、(株)不二宮工業(株)、(株)和高建設工業、(株)光電気工事(株)、(株)三栄工業(株)、(株)桐和空調設備(株)、(有)大城水道工事社、(株)設備技研、(株)テクノ工業、(株)開邦工業、(株)桃原農園、(株)本部造園(株)、(株)宜野湾電設、(株)南部電工(株)、(株)興洋電子、(株)東江電気工事、(株)大輝、(株)技建、(株)キョウリツ、(株)沖繩セメント工業(株)、(株)渡久山設計、(有)スタプランニング、(株)AMS設計、(株)ワールド設計、(株)ウイング総合設計、(株)大東エンジニアリング、(株)大富建設コンサルタント、(株)シビルエンジニアリング、(株)国建、(有)大宮工機、(株)佐久本工機

【進学】

東海工業専門学校金山校、専修学校パシフィックテクノカレッジ学院



メモをとりながら説明を聞く生徒ら



映像を見て企業の特徴を学んだ



VRを体験する生徒ら



進学への情報を収集する生徒

若手技術者35人が実践型人材育成訓練を修了



約2ヵ月間の訓練を終えた受講生ら

沖縄県職業能力開発協会と共催で実施した実践型人材育成訓練が6月9日に閉講し、土木学科コース15人、建築学科コース20人の計35人が全課程を修了した。那覇地域職業訓練センターで閉講式が行われ、受講生に修了証が交付された。

訓練は36日間・計252時間にわたり実施。施工管理、設計・積算、測量、安全衛生など、建設業に必要な知識と技術の習得を図った。

閉講式では、城間盛彦庶務課係長が「資格取

得にも挑戦しながら経験を重ね、業界を支える技術者に成長してほしい」と激励。職能協の新垣信人専務理事も「訓練で学んだ基礎を糧に、現場経験を積みながら成長してほしい」と期待を寄せた。受講生からは「建設の知識がない状態でのスタートだったが、多くのことを学ぶことができた」「他社の同期と交流できて良い刺激になった。成長してまた会いたい」などの声が聞かれ、訓練が成長への機会となったことがうかがえる。

比嘉良忠氏が琉大講義で建設業の仕事と魅力紹介

琉球大学工学部建築学コースの「キャリアデザイン」の講義が5月28日に行われ、(株)國場組執行役員で建設企画部長を務める比嘉良忠氏が「民間建設企業の仕事」をテーマに講師を務めた。講義は、今年4月から同コース3年生を対象に始まったもので、講師派遣の依頼を受けた沖建協が比嘉氏に登壇を依頼して実施に至った。

比嘉氏は、総合建設業における設計、積算、施工管理の流れを説明したほか、BIMを活用した施工計画や工程管理、VR・AR技術などを紹介。今年3月に完成した琉球銀行本店ビル新築工事を例に挙げて、着工から完成までの流れを写真や図面を用いて解説した。「建設業にはさまざまなイメージがあると思うが、発注者や利用者に喜んでもらえるやりがいのある仕事。IT化や働き方



講師を務めた比嘉氏

改革、安全対策も進んでいる」として、「将来の選択肢の一つとして考えてもらえたらうれしい」と呼び掛けた。

受講した学生からは「施工管理に興味が湧いた」「資格取得支援も充実していて魅力的だった」などの感想が寄せられた。

南部・北部国道事務所の発注工事説明会開催

5月21日、沖縄総合事務局南部・北部国道事務所の「令和8年度第1回発注工事説明会」を浦添市の建労センターで開いた。円滑な工事発注と施工を目的に開催したもので、会員企業の担当者らが参加し、今年度予定工事の概要や施工条件、留意事項などの説明に耳を傾けた。

開会にあたり、南部国道事務所の松澤尚利所長は「工事内容を理解し、入札準備に役立ててほしい」と呼びかけた。同事務所の担当者は、小禄道路橋梁床版工工事や牧港高架橋仮栈橋設置工事、与那原地区法面対策工事などの発注予定案件を説明。また施工中の関連工事との工程調整や交通規制への対応、施工ヤードの確保など、受注後に想定される課題や留意事項を共有した。さらに見積活用方式や難工事指定、不調・不落対策への協力を求めた。

北部国道事務所の担当者は、電線共同溝設置工事や交通安全対策工事、歩道整備工事、維持修繕工事などの概要を紹介。工事箇所ごとの施工



説明に耳を傾ける会員ら



南部国道事務所の担当者



北部国道事務所の担当者

条件や交通処理、関係機関との協議状況に加え、標識修繕工事やCCTV設備更新工事など維持管理関係の発注予定についても情報を提供した。

説明後には意見交換も行われ、発注条件や施工上の課題、不調・不落対策などについて発注者と参加企業が認識を共有した。

建設フェスタ実行委員長に仲本会長を選任

6月15日、第8回おきなわ建設フェスタの開催に向けて、第1回実行委員会が那覇市の沖縄産業支援センターで開かれた。実行委員長に沖建協会長の仲本豊氏を選任。副委員長には(公財)沖縄県建設技術センターの仲厚理事長、(株)沖縄建設新聞の下地輝昭社長が就任した。

仲本委員長は「今回から会場が宜野湾市に変更となる。過去の開催以上に盛り上がるイベントにし、親子連れが楽しみながら建設業への理解を深められる機会にしたい。子どもたちが将来、建設業で働きたいと思えるような取り組みを各団体と連携して進めていきたい」と挨拶した。

委員会では、令和7年度収支報告を承認したほか、令和8年度の年間スケジュールや開催日程などを確認した。第8回目のイベントは11月15日に宜野湾市民体育館で開催する予定。



開催までのスケジュールなどを確認



就任あいさつをする仲本会長

1級土木施工管理技術検定(一次)試験対策講習会を開催

5月25日から27日までの3日間、令和8年度1級土木施工管理技術検定(一次)試験に向けた受験対策講習会を浦添市の建労センターで開いた。会員企業から24人が参加し、7月の試験に向けて出題頻度の高い分野や重点項目を学んだ。

講習会は、初日に池田優氏(株)大城組が建設機械、舗装、基礎工、施工管理法を担当。2日目は宮城敏明氏(株)興洋エンジニアリングが土工とコンクリート、3日目は金城信博氏(株)屋部土建が安全管理、阿部昇氏(大城組OB)が法規について解説した。池田氏は「試験では満点を目指すのではなく、確実に合格点を取ることが重要」と助言し、関連資格の同時取得を視野に入れることで、効率的な資格取得につながるとアドバイスした。

参加者からは「現場の仕事で勉強時間を確保しづらかった。講習で分かりやすく学ぶことができて、貴重な時間になった」との声が聞こえた。



24人が受講した



池田氏



宮城氏



金城氏



阿部氏

土木・建築1級施工管理技士試験に向けて確認テスト

6月3日、令和8年度1級土木施工管理技術検定試験(1次)に向けた実力確認テストを浦添市の建労センターで実施した。

本試験は7月5日。工学基礎や土木一般、専門土木、法規、共通工学、施工管理、施工管理法(応用能力)の各項目から4択で70問出題され、42問正解する必要がある。実力確認テストには会員企業から20人余りが参加した。

6月9日には、令和8年度1級建築施工管理技術検定試験(1次)の実力確認テストも実施。30人が挑戦し、テスト後も解説DVDを見ながら学習成果を振り返り、さらなるレベルアップを図った。本試験は7月19日に行われる。

沖建協では、会員企業の技術者が資格取得できるよう支援しており、先だって試験対策講習会も実施した。建設業の担い手確保と人材育成につながる取り組みを進めている。



6月3日、20人余りが参加した



6月9日、確認テストに取り組む参加者ら

美来工科高校のデュアルシステムで太名嘉組が実習

県立美来工科高校土木工学科2年生を対象とした今年度のデュアルシステム現場実習がスタートした。令和8年度は(株)太名嘉組と(株)仲本工業、(株)國場組、南洋土建(株)が生徒を受け入れる。初回は太名嘉組が担当し、生徒8人の現場実習に取り組んだ。4月14日には、本社でオリエンテーションを開き、小橋川典秀総務課長らが会社概要や安全管理、現場見学時の留意事項などを説明した。

5月26日には、那覇市の「令和7年度小禄道路鏡水地区改良(その1)工事」現場で実習を行った。生徒らは、スマートフォンのアプリを利用し、電子黒板の写真管理や写真情報(EXIF)の読み取りを体験した。また、3Dスキャン測量で、現場にある車両や生徒同士を対象に3次元データの取得にも挑戦。参加した生徒は「スマホで3Dデータを扱えるなんて新しい時代だ」と話した。



実習に臨む生徒ら(オリエンテーション)



現場で3Dスキャン測量を体験

女性部会が県母子連・那覇市母子会と意見交換

女性部会は5月21日、建労センターで沖縄県母子寡婦福祉連合会と那覇市母子寡婦福祉会との意見交換会を開いた。子どもの貧困や困窮世帯への支援をテーマに現場の課題を聞き、建設業界が持つ技術や人材を生かした継続的な支援の可能性について意見を交わした。

糸数幸恵部会長は、沖建協が困窮世帯支援を事業計画に盛り込み、支援の具体化に向けて現場の声を把握する取り組みを進めていることを説明。「緊急支援だけでなく、就労を通じた自立支援にもつながりたい」と述べ、今回の意見交換で得た課題や必要な支援を今後の取り組みに反映していく考えを示した。

県母子連からは、子どもの貧困の現状や支援活動について説明があったほか、沖縄県中小建設業協会と連携して実施している建設人材養成講座を紹介。資格取得講座を通じて建設業への就職につながった事例が報告され、企業の強みを生かした支援の重要性が示された。



困窮世帯支援について意見を交わした

那覇市母子会は、子どもから高齢者までが交流できる居場所づくり事業を説明。活動の場となる館内でのテーブルや椅子の不足、中高生が気軽に立ち寄れる環境づくりなどの課題を報告した。これを受けて、意見交換では子どもたちと机や椅子を製作するDIY体験など、建設業の技術を活用した支援策についても話し合われた。

このほか参加者からは、ものづくり体験を通じて建設業への関心を高め、親子の交流にもつながるとの期待が寄せられた。食料支援の方法や情報発信のあり方については、地域や関係団体と連携しながら支援の輪を広げていくことを確認した。

建災防沖縄県支部が通常総会・労働災害防止大会を開催



参加者全員で安全スローガンを指差唱和した

建設業労働災害防止協会沖縄県支部は6月12日、那覇市内で第55回通常総会と第51回建設業労働災害防止大会を開催した。総会では新支部長に(株)仲本工業会長の仲本豊氏を選任し、承認された。

大会で仲本支部長は「皆さまと力を合わせて無事故・無災害の達成を目指したい。いかなる状況下においても労働災害はあってはならないもの。不退転の決意で労働災害の減少・撲滅に取り組む」と決意を述べた。

令和7年の県内建設業の労働災害は、休業4日以上の死傷者数が175人で、前年より22人減少した。一方で重大事故や死亡事故も発生しており、労働災害で命を落とした仲間の御霊に対し、参加者全員で黙とうをささげた。

来賓あいさつでは、沖縄労働局と県土木建築部が、労働災害防止や健康確保対策の取り組みについて、より一層の推進を呼びかけた。

記念講演では、沖縄振興開発金融公庫の新垣尚之理事長が「沖縄経済の現状と課題」と題して、県内企業の景況調査結果を紹介。「県内経済は回復基調にある一方で、世界的な情勢の変化もあって不透明な要素もある」と説明した。

安全の誓いは、(株)大米建設の勝連敏四郎氏が労働災害防止対策の徹底を宣言。その後、参加者



就任あいさつをする仲本支部長



安全衛生に貢献した現場・個人を表彰

全員で全国安全週間スローガンを指差唱和し、安全意識のさらなる向上を図った。

また大会では、安全衛生活動などに貢献した現場や個人を表彰した。本部表彰推薦者を紹介したほか、支部表彰では優良賞22工事、功労賞1人、功績賞12人に賞状を贈呈。受賞者を代表して(株)屋部土建の玉城道彦氏が謝辞を述べ、さらなる安全活動の推進に努める考えを示した。

県内5地区で安全管理推進大会を開催

7月1日から7日までの全国安全週間を前に、沖建協の各支部は、建設業労働災害防止協会沖縄県支部の分会として、沖縄県労働基準協会各支部と県内の労働災害防止関連団体とともに、各地で安全管理推進大会を開いた。大会最後には指差唱和を行い、労働災害防止に向け決意を新たにした。

那覇地区は、6月4日に浦添市のアイム・ユニバースてだこホールで開催。那覇分会、南部分会、浦添・西原分会らが参加した。沖縄労基協那覇支部の仲西聡支部長は「事業場ごとに安全衛生計画を策定し、実効的な安全衛生活動を定着させ、誰もが安心して働ける安全で快適な職場環境づくりに努めてほしい」と呼びかけた。那覇労働基準監督署の佐喜真芳弘安全衛生課長が、高年齢者の労働災害防止指針や改正労働安全衛生規則の熱中症対策について説明し、対策の徹底を求めた。

中部地区は6月10日に沖縄市産業交流センターで開き、中部の事業所70社から126人が参加した。特別講演で大同火災海上保険(株)の亀島健氏が「ヒヤリ・ハットが軽微な事故を経て、1つの重大な事故になる」とし、「小さな危険を見逃さず、対策を取ることで事故を未然に防ぐことができる」とアドバイスした。

北部地区は、6月11日に名護市21世紀の森体育館で開催。北部分会の照屋博章分会長が「安全は誰か一人の努力で成し遂げられるものではない。仲間同士で声を掛け合い、危険を摘み取ることが確かな安全基盤につながる」と述べた。

宮古地区は6月10日に宮古島市中央公民館で実施。大会宣言で宮古分会の川平勲副分会長が「安全・安心な職場環境づくりに向け、事業者と労働者が一体となって活動に取り組む」と宣言した。

八重山地区は6月3日に石垣市民会館中ホールで開催。米盛博明大会実行委員長が「経営トップの関与やリスクアセスメントの徹底、基本動作・基本ルールの再確認を挙げ、「大会を契機に安全管理体制を見直し、現場改善につなげてほしい」と呼びかけた。



6月4日に那覇地区で開催された



中部地区は6月10日に実施



北部地区は6月11日に開催した



宮古地区は6月10日に大会開催



八重山地区は6月3日に実施した

■那覇・南部支部などが沖縄防衛局説明会開催

那覇支部(黒島一洋支部長)と南部支部(徳元猛支部長)は5月29日、那覇市の沖縄セルラースタジアム那覇で、沖縄防衛局による入札制度等説明会を開催した。会員企業が参加し、5月公告分から見直された総合評価落札方式や、中東情勢の変化に伴うスライド条項の特例措置について理解を深めた。

説明会では、防衛局から総合評価落札方式の見直し内容について説明があった。地域評価型に「南部地域型」が追加されたほか、WTO基準額以上の工事を対象に「拡大施工能力評価型」と「拡大地域評価型」を新設したことが紹介された。また、中東情勢の変化に伴うスライド条項の特例措置については、ナフサを原料とする建築塗料や断熱材、接着剤、アスファルト合材などを対象に、資材価格の変動に対応した運用が行われるとした。

徳元支部長は「那覇・南部支部として大きなチャンス。受注体制を整えて、この機会を生かして防衛局工事の実績を積み上げてほしい」と呼び掛けた。



那覇、南部支部の説明会



八重山支部の説明会

八重山支部(平良聡支部長)も6月4日に石垣市の八重山建設会館で同様の説明会を開催した。

■那覇支部が社会貢献活動で国場川沿いの環境美化に取り組んだ

那覇支部は5月20日、那覇市内の国場川左岸で清掃ボランティア活動を実施した。会員企業から58人が参加し、下茂橋から一日橋付近までの約700m区間で除草作業やごみ拾いに取り組み、地域の環境美化に貢献した。

作業は3班に分かれて実施。河川敷や遊歩道周辺に繁茂した草木や雑草を除去し、散乱したごみを回収した。参加した(株)佐平建設の荷川取史也さんは「ボランティア清掃には何度も参加している。年に2回なので、わずかながらでも地域に貢献できればと思う。これからも継続して参加したい」と笑顔で話した。

同支部は社会貢献活動の一環として毎年5月と11月の年2回、国場川周辺の清掃活動を継続しており、地域環境の保全と美化、良好な景観づくりに努めている。



58人が参加した



繁茂した草木を除去した

支部活動報告

■那覇、南部、浦添・西原支部がCPDSセミナー開催

那覇支部と南部支部は、今年度第1回目のCPDS・CPD認定オンラインセミナーを開催した。会員企業から多くの監理技術者や現場代理人らが受講し、専門知識の維持・向上に努めた。那覇支部は5月21日に実施され、38人が参加。南部支部は5月22日に23人が受講した。

講師は合同会社クロソイドの戸所俊雄氏が務め、「施工計画書の意義と重要性」と題して、施工計画書およびICT施工計画書作成時の留意点について説明した。

戸所氏は施工計画書について「受注者は工事内容と契約条件を十分理解し、どんな方法・手段で工事を実施するか検討し決定する。また発注者側は施工計画書が提出されて初めて受注者の施工方針がわかる」として、「監督職員が具体的な施工をイメージできるように作成することが大きなポイント」と強調し、分かりやすく具体的に示すことの重要性をアドバイスした。



那覇支部の受講者ら



南部支部の受講者ら

同セミナーは5月12日に浦添・西原支部でも開催された。

■南部支部が今年度1回目の防犯パトロールに参加

南部支部は6月3日、南風原町のつかざんシティ店で実施された地域防犯パトロールに参加し、特殊詐欺被害の防止などを呼びかける啓発活動を行った。徳元猛支部長をはじめ支部会員から12人が参加した。

活動に先立ち徳元支部長は、「南部支部としては今年度初めての防犯パトロールへの参加となる。地域の方や子どもたちの安全・安心のため、笑顔で啓発活動に取り組んでいこう」とあいさつし、参加者を激励した。参加者は店舗入口で買い物客らに啓発チラシを配布し、特殊詐欺をはじめとする犯罪被害への注意を呼びかけ、防犯意識の向上を促した。

この活動は、地域の防犯意識向上と犯罪被害防止を目的に与那原地区防犯協会が主催し、定期的に行われている。南部支部は地域との協力体制構築に取り組むとともに、地域社会への貢献活動として継続して参加している。



支部会員12人が参加した



防犯チラシを配布した

■不法投棄防止パトロールに中部支部と北部支部が参加

中部保健所管内の令和8年度不法投棄等防止県下一斉パトロールが5月29日に行われ、中部支部の会員企業をはじめ、関係機関から約70人が参加した。参加者はうるま市の石川地区と州崎・勝連地区の二手に分かれ、計6か所の現場を確認した。

うるま市役所で行われた出発式では、県廃棄物不法処理防止連絡協議会の崎原美奈子会長（県環境部環境企画統括監）が「6年度に県内で確認された不法投棄は121件で、総重量は2457トン。一般廃棄物3割に対し、産業廃棄物は7割に上った」と説明。「不法投棄は行為者を特定することが難しく、未然防止が重要。不法投棄のない快適な環境を目指し、対策を推進していく」と述べた。

うるま市の佐久川篤副市長は、「うるま市としても対策しているが、残念ながら不法投棄が後を絶たない。撲滅を目指して取り組む」と挨拶した。

参加者からは「子供たちへ環境保護の必要性をもっとアピールしてほしい」との声も上がった。



中部管内に70人が参加した



北部支部会員らが不法投棄物を回収した

パトロールは6月3日に北部管内でも行われ、本部町と今帰仁村所在の北部支部会員が参加した。

■建災防北部分会と名護労基署が合同パトロール

建災防沖縄県支部北部分会（分会長・照屋博章支部長）は5月29日、名護労働基準監督署と合同で建設現場パトロールを実施した。署職員や分会会員ら12人が参加し、3班に分かれて名護署管内の現場を巡回し、労働災害防止の徹底と安全衛生管理の推進を呼びかけた。

出発式で照屋分会長は「足場からの墜落や転倒災害が多く発生している。安全な現場づくりにつながるよう指導に当たってほしい」と挨拶した。

1班は国頭村、大宜味村、今帰仁村（古宇利島）、2班は本部町、今帰仁村、3班は名護市の現場を担当。現場では、外部足場の隙間養生や手すりの設置、フルハーネスの使用、開口部の墜落防止措置、丸ノコ盤やグラインダーの安全カバーの設置などを確認し、必要に応じて改善を促した。

このほか安全掲示板の設置状況などを点検するとともに、熱中症対策や労働災害防止に関するリーフレットも配布し、安全意識の向上を呼びかけた。



参加者全員で指差し唱和



安全管理上の改善を促す安全指導員ら

支部活動報告

■宮古支部が広域公園の早期整備など4項目を要望した

宮古支部は5月15日、県庁を訪れ、公共事業予算の確保や道路整備の推進などを求める要請活動を行った。友利勝人支部長ら9人が出席し、砂川勇二土木建築部長と仲本利江建築都市統括監に対し、宮古広域公園の早期整備、資材価格高騰への対応、地元企業の優先活用など4項目を要望した。

宮古広域公園整備について友利支部長は、「毎年要請しているが、着工時期の見通しが示されていない」と述べ、早期事業化と地元企業が参入しやすい発注への配慮を求めた。これに対し県側は、用地取得を進めつつ、PFIなど民間資金活用を含めた事業手法を検討していると説明し、「市と連携しながら早期整備に取り組みたい」と応じた。

資材価格については、離島地域では資材不足や輸送費増加などの影響が大きいとして、単品スライド条項の柔軟な運用などを要望した。道路関係では、県側から平良下地島空港線や下地島空



砂川部長に要請書を手渡した



喜屋武部長にも要請した

港佐良浜線などの整備状況について説明を受けたが、観光客増加に伴う交通量増加で損傷が進む道路があるとして、維持補修への対応強化を求めた。

この日は農林水産部も訪れ、喜屋武盛人部長に公共事業予算の安定確保などを要請した。

■八重山圏域のインフラ整備と建設業振興を県に要望

5月15日、八重山支部は県庁を訪れ、土木建築部に対して要請を行った。平良聡支部長らは、石垣空港滑走路の延長や建築確認申請の迅速化、資材価格高騰への対応など、八重山圏域のインフラ整備と建設業振興を求め、砂川勇二部長に要請書を手渡した。仲本利江建築都市統括監も同席した。

要請では、国際便の受け入れ拡大や災害時の輸送機能強化など、将来的な需要を見据え、石垣空港滑走路の1000m延長の早期具体化を求めた。空港アクセス道路となる石垣空港線についても、観光客増加に伴う交通量の増大を踏まえ、早期整備を要望した。

滑走路延長について県側は、住民合意や国道移設などの課題があるとしつつ、航空会社から要望の強い駐機場拡張に向けて国との調整を進めていると説明。石垣空港線については、橋梁整備を中心に事業を進めているとした。



要請書を手渡す平良支部長ら



農水部の喜屋武盛人部長らが出席した

建築確認申請については、審査期間中に資材価格が上昇し、計画変更を余儀なくされるケースがあるとして、円滑な審査体制の確保を訴えた。

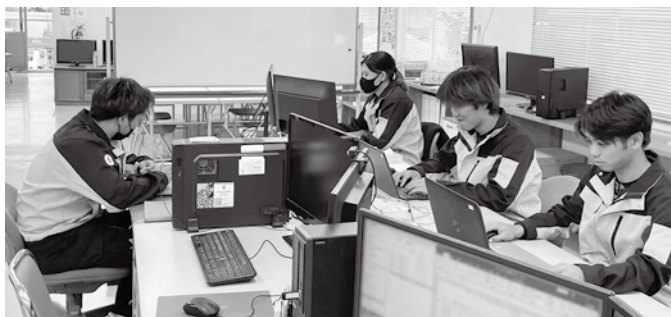
支部は同日、農林水産部に対しても要請を行い、公共事業予算の安定的な確保や地元企業の活用促進などを求めた。

働きやすい環境で楽しい仕事

建設業はきついなど3Kイメージがありますが、現場には、きれいな休憩所や女性専用の快適トイレが設置されていて、とても働きやすい環境になっています。また、いろんな方が出入りする中、コミュニケーションをとることで仕事を覚えることができ、自分の成長にもつながりました。最初は分からないことばかりでしたが、できることが少しずつ増えていくと、とても楽しくやりがいのある仕事だと思います。

今は、現場で写真管理を担当しています。パソコンは苦手でしたが、少しずつ使いこなせるようになりとても楽しいです。

担当している現場



事務所での様子(右奥)



名護商工高等学校出身
崎山 ひなたさん(20歳)
(株式会社北勝建設 工事部)

さきやま ひなた／大宜味村出身／2024年3月名護商工高等学校(電建システム科)卒業／2024年5月株式会社北勝建設入社

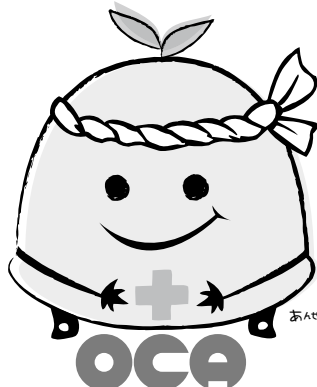
入職のきっかけ:小さい頃から建設業の仕事に興味があって工業高校に入学しました。就職活動中に参加した会社見学で、現場の人達がとても優しく雰囲気がいいなと思ったのが入職したきっかけです。

将来の夢・目標:施工管理の資格を取得することが目標です。

休日の過ごし方:買い物やドライブでリフレッシュしています。

沖建協「見える化」イメージアップキャラクター 「あんぜんぼーや」を現場へつれてって!!

地域と共に、未来を築く



Okinawa General
Constructors
Association

あんぜんぼーや

私たちは、沖縄県建設業協会会員です。



建設業界のイメージアップと沖縄県建設業協会会員の「見える化」を図るため、協会のイメージアップキャラクター「あんぜんぼーや」のシールを作成しました。(A4サイズ、A3サイズ)

協会会員が施工する建設現場の出入り口など人目に触れる機会の多い場所に貼って、協会会員であることを示すPR活動に使用してください。

追加で必要な場合は、所属支部窓口で配布します。

2026年6月の動き

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
3	水	・沖建協「1級土木施工管理(一次)検定試験実力確認テスト」(建労センター)	・沖縄県職業能力開発協会「若年技能者人材育成支援等に係る連携会議」(那覇市)
5	金	・沖建協、建産連「建設産業合同企業説明会」 (沖縄コンベンションセンター)	・沖縄県「沖縄県総合防災訓練第1回部会」(Web) ・沖縄県暴力団離脱者社会復帰支援協議会「総会」 (那覇市)
8	月		・沖縄不発弾等対策協議会「協議会・分科会」(那覇市)
9	火	・沖建協「1級建築施工管理(一次)検定試験実力確認テスト」(建労センター) ・沖建協「実践型人材育成訓練修了式」 (那覇地域職業訓練センター)	・おきなわアジェンダ21県民会議「総会・環境講演会」 (那覇市) ・全建「表彰式・定時総会」(那覇市) ・リゅうぎん総合研究所「トップセミナー」(那覇市)
10	水		・建災防本部「理事会」(東京都) ・沖縄しまたて協会「講演会」(那覇市)
11	木		・沖縄県職業能力開発協会「前期技能検定委員辞令交付式及び調整会議」(那覇市)
12	金		・建災防沖縄県支部「総会・労働災害防止大会」(那覇市) ・沖縄県環境整備センター「定時株主総会・臨時取締役会」(那覇市)
15	月	・沖建協「建設DX基礎研修」～6/19(金)迄 (建労センター)	・沖縄県社会保険委員会「支部総会・社会保険制度説明会」(浦添市) ・おきなわ建設フェスタ事務局「実行委員会・幹事会」 (那覇市) ・沖縄県防衛協会「表彰式・定期総会・防衛講話」(那覇市)
17	水	・沖建協「正副会長会議」(ハーバービューホテル) ・建設会館「株主総会」(ハーバービューホテル) ・沖建協「役員会」(ハーバービューホテル)	
22	月	・沖建協「黄綬褒章受章祝賀会」(ナハテラス)	
23	火		・沖縄県「沖縄全戦没者追悼式」(糸満市)
24	水		・沖縄建設新聞「取締役会」(那覇市) ・沖縄労働局「建設工事関係者連絡会議」(那覇市) ・沖縄県キャリアセンター「業界セミナー(講話)」(那覇市) ・暴力団追放沖縄県民会議「定時評議員会」(那覇市)
25	木	・建産連「総会」(ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城)	・建設業振興基金「建設業経理事務士特別研修4級(一般向け)」～6/26(金)迄(浦添市)
26	金		・西日本建設業保証「定時株主総会」(大阪府)
29	月	・沖縄県土木技士会「総会」 (ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城)	・建退共「運営委員会・評議員会」(東京都) ・建設業福祉共済団「定時評議員会」(東京都)
30	火		・全国建産連「通常総会」(東京都)

2026年7月の行事予定

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
1	水		・県産品奨励月間実行委員会「県産品奨励月間街頭セレモニー」(那覇市)
3	金	・沖建協「現場見学会(南部工業・建築設備科)」(西原町)	・沖縄県緑化推進委員会「緑の募金運営協議会」 (南風原町)
4	土		・国立沖縄自然史博物館誘致県民会議「役員会」(那覇市)
6	月		・県産品奨励月間実行委員会「県産品優先使用の要請」 (浦添市)
7	火		・沖縄県経済団体会議「本会議」(那覇市) ・土木学会西部支部沖縄会「運営委員会・総会」(那覇市)

2026年7月の行事予定

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
10	金		・九州建設青年会議「通常総会、意見交換会」(福岡県) ・建設業福祉共済団「事業推進戦略会議」(東京都)
13	月	・沖建協「建設DX基礎研修」～7/17(金)迄 (建労センター)	
16	木		・沖縄県生コンクリート品質管理監査会議(那覇市)
17	金	・沖建協「不当要求防止責任者講習【八重山地区】」 (八重山建設会館)	
22	水		・全建「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」(東京都) ・美来工科高校「地域連携プラットフォーム情報交換会」 (沖縄市)
23	木	・沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」～7/24(金)迄(海邦町)	
27	月		・地域建設産業のあり方に関する調査研究タスクフォース 第1回会合(東京都)
28	火	・沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」～7/29(水)迄(海邦町)	・九州地区土木技士会連合会「通常総会」(福岡県)
29	水		・九建協「建築委員会」(熊本県) ・九建協「九地整営繕部との意見交換会」(熊本県)
30	木	・沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」～7/31(金)迄(海邦町)	・九建協「土木委員会」(熊本県)

[7月号会員の異動]

代表者・所在地・組織 等

ページ	支部名	会社名	変更事項	変更前	変更後
P17	那覇	極東建設(株)	代表者	稲葉 靖規	柳森 豊
P23	南部	(株)技建	代表者	津波古 充	津波古 健二
P28	浦西	(株)タダシ建設	住 所	浦添市仲間3-11-7	西原町字池田143-2
P39	北部	(株)まるくに	住 所	名護市字屋部1694-1	名護市字屋部1700-1
P40	北部	(有)良三組	代表者	鶴田 健一郎	満名 務

沖建協会報 2026年7月号(第674号)
令和8年7月1日発行
発行人 我喜屋 良成

発行所 一般社団法人 沖縄県建設業協会
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8
TEL.098 (876) -5211
FAX.098 (870) -4565
編集 株式会社沖縄建設新聞

沖縄県内の公共工事動向（令和8年5月分）

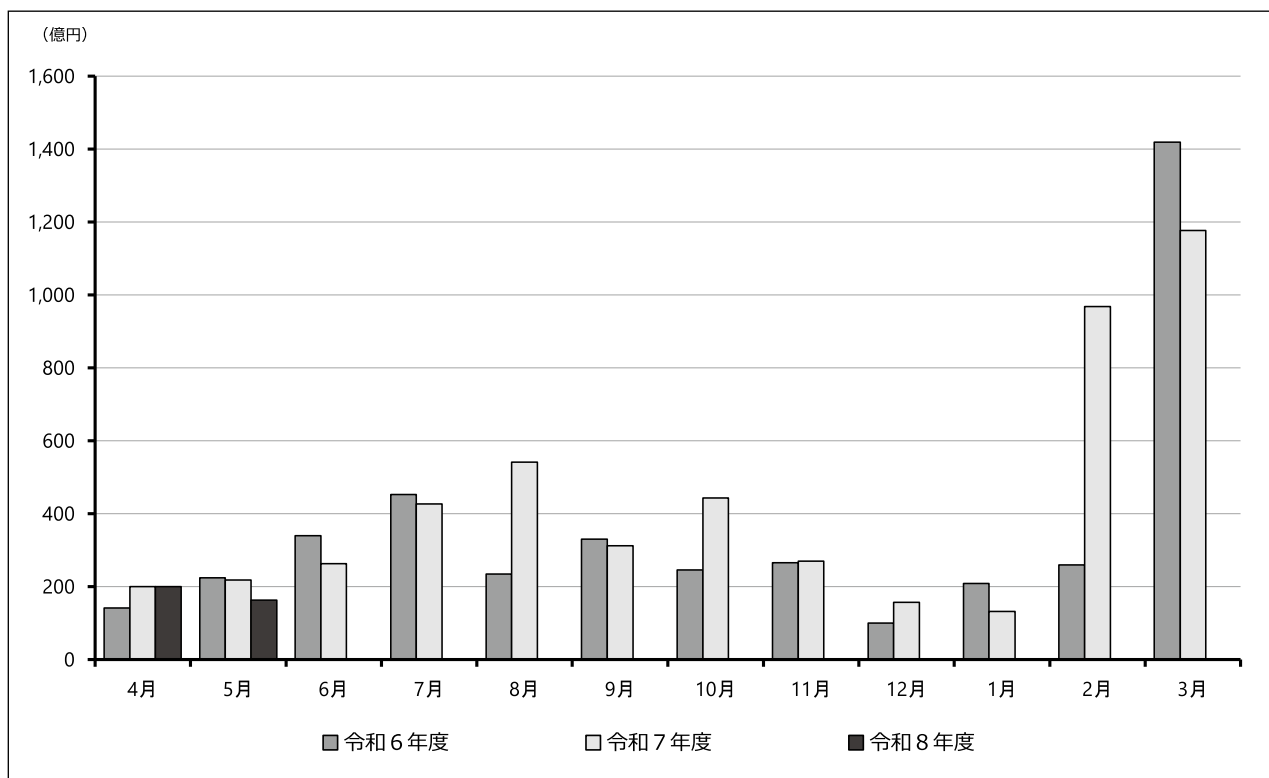
西日本建設業保証（株）沖縄支店

▼ 概況

（単位：件、百万円、％）

	当 月		増減率		累 計		増減率	
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国	26	2,463	▲36.6%	▲45.1%	53	4,707	▲19.7%	▲28.5%
独立行政法人等	0	0	—	—	0	0	—	—
県	39	6,298	▲39.1%	▲34.9%	94	14,338	▲25.4%	▲13.8%
市町村	68	5,420	▲10.5%	▲12.5%	148	14,136	2.1%	5.3%
その他	12	2,184	9.1%	102.4%	22	3,227	4.8%	▲22.9%
合 計	145	16,367	▲25.6%	▲25.5%	317	36,410	▲13.4%	▲13.4%
令和7年度	195	21,968	11.4%	▲2.0%	366	42,046	9.6%	14.8%
令和6年度	175	22,412	▲4.9%	58.7%	334	36,639	▲3.2%	15.3%
令和5年度	184	14,118	17.2%	2.8%	345	31,782	13.9%	4.8%
令和4年度	157	13,732	▲19.5%	▲51.1%	303	30,326	▲20.1%	▲46.2%

▼ 月別請負金額の推移





電子申請で業務を
もっとスムーズに!

建設現場労働者のための退職金制度

建退共

K E N T A I K Y O

電子化で、煩雑な申請や書類管理の
手間を大幅に軽減できます。

オンラインで
業務効率化!

工事関係書類の
電子化にも対応!

発注機関等への
提出作業が軽減!



詳しい情報はこちら ▶

建退共



<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp/>



建退共
建設業退職金共済制度

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL.03-6731-2866

安心を、未来への希望に。

新設 保険金区分

最高

7,000万円

に増額

(従来5,000万円)

契約者
割戻金制度により
掛金負担
が軽減

経営事項審査
において
15点の加点
になります

法定外労災補償制度 諸費用補償 (企業防衛)

建設共済保険

さらに新しくなった!
建設共済保険制度の

10の
ポイント!

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および身体障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室 導入費用に対する助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

<https://www.kyousaidan.or.jp/>

建設共済保険

検索

詳しくはホームページをご覧ください



公益財団法人 **建設業福祉共済団**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー11階

■取扱機関：一般社団法人沖縄県建設業協会

〒901-2131 浦添市牧港5-6-8

Tel. 098-876-5211 Fax. 098-870-4565



広めよう、 世界へ羽ばたく 県産品

県産品奨励月間

2026年【令和8年】

7/1(水) ▶ 7/31(金)

【主管】県産品奨励月間実行委員会（19団体）

【構成】沖縄県、（公社）沖縄県工業連合会、沖縄県JIS協会、沖縄県商工会連所連合会
（一社）沖縄県経営者協会、沖縄県商工会連合会、沖縄県酒造組合、沖縄県農業協同組合
沖縄県漁業協同組合連合会、（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、（一社）沖縄県女性連合会
（公財）沖縄県学校給食会、（一社）沖縄県ホテル協会、沖縄県市長会、沖縄県町村会
沖縄県中小企業団体中央会、（一社）沖縄県建設業協会、（株）沖縄県物産公社
沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合

【協賛】沖縄タイムス社、琉球新報社、NHK沖縄放送局、琉球放送、琉球朝日放送
沖縄テレビ放送、ラジオ沖縄、エフエム沖縄（順不同）

沖縄県建設業協会青年部会

島の魅力

第18回 フォトコンテスト

〈令和8年度〉

最優秀賞
賞金 5万円

作品応募期間 当日消印有効

令和8年 6.1月~8.14金

表彰式

令和8年11.16日
県庁1階ロビー(予定)

「人」の部

建設業で働く人々
を題材にした作品
撮影場所・沖縄県内

土木・建築・設備・その他の工事現場で
「いきいきした姿」「人間味あふれる姿」
「真剣な姿」働く人々をとらえた作品

キーワード 技能・技術・連携・安全・裏方・親睦・仲間・
家族・笑顔・地域、等

「造」の部

建設業が造り出す
構築物を題材にした作品
撮影場所・沖縄県内

沖縄県内で施工途中、又は既に竣工した
構築物等「美しい様子」「存在感のある様子」
「象徴的な様子」で街や人々のよりどころ
となっている

キーワード 技術・工法・規模・雄大・デザイン・自然・
街並・都市・調和、等

各部門

※入賞は各部門1人1点とします。

- 最優秀賞 1点 (賞状・賞金 5万円)
- 優秀賞 2点 (賞状・賞金 2万円)
- 学生賞 1点 (賞状・賞金 1万円)
- 入選 10点 (賞状・賞金 5千円)
- みんなの公共 (建築・土木) 賞
 - ・建築賞 (「造」の部) 2点 (賞状・賞金 1万円)
 - ・土木賞 1点 (賞状・賞金 1万円)
- 沖縄建設新聞社長賞 1点 (賞状・賞金 1万円)
- 現場で働く美ら小町賞 (「人」の部より) 1点 (賞状・賞金 1万円)

お問い合わせ先・応募先

沖縄県建設業協会青年部会 第18回 フォトコンテスト

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8

TEL: 098-876-5211

FAX: 098-870-4565

http://www.okikenkyo.or.jp/

島の魅力 係



青年部会 島の魅力

確かな安心へ
全力応援。



建設共済保険

※令和8年度より、建設共済保険に加入する事業者は、建設共済保険料を、建設共済保険料の10%程度で、建設共済保険に加入する事業者の負担となります。

建設共済保険の加入は、建設共済保険料を、建設共済保険料の10%程度で、建設共済保険に加入する事業者の負担となります。

【主催】 沖縄県建設業協会青年部会 【後援】 内閣府沖縄総合事務局・沖縄労働局・沖縄県・沖縄県市長会・沖縄県町村会・NHK沖縄放送局
【協賛】 エフエム沖縄・沖縄銀行・沖縄海邦銀行・沖縄建設新報・沖縄県土木施工管理技士会・沖縄タイムス社・沖縄テレビ放送・カメラのモリヤマ・(一社)公共建築協会・ラジオ沖縄・琉球朝日放送・琉球銀行・琉球新報社・琉球放送 (五十音順)